

事務事業名 合併処理浄化槽設置推進事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：360

施策：	08	快適な生活環境の促進	財務コード	--
基本事業：	01	公害の防止	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	公害の苦情及び相談件数（騒音・振動、悪臭等）		担当課	環境課
			担当係	環境保全・廃棄物



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分			実施計画									
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）														
公共下水道・コミュニティプラント・大型合併処理浄化槽・農業集落排水処理施設の処理区域以外の区域で、既存の専用住宅にて使用している単独処理浄化槽またはくみ取り便槽を廃止し合併処理浄化槽を設置する市民			家庭からの生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、浄化槽設置者にその費用の一部として補助金（国・県・市）を交付する。														
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			<table border="1"> <tr> <td>人槽区分</td> <td>補助限度額(円)</td> </tr> <tr> <td>5人槽</td> <td>332,000</td> </tr> <tr> <td>6～7人槽</td> <td>414,000</td> </tr> <tr> <td>8～10人槽</td> <td>548,000</td> </tr> </table>							人槽区分	補助限度額(円)	5人槽	332,000	6～7人槽	414,000	8～10人槽	548,000
人槽区分	補助限度額(円)																
5人槽	332,000																
6～7人槽	414,000																
8～10人槽	548,000																
生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するとともに、生活環境の保全を図る。																	
4. 成果（簡易評価は未記入）																	
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標								
対象区域内の汲み取り人口数		人	465	427	500	0			530								
5. コスト																	
事業費		計	千円	747	0	1,160											
		国	千円	248	0	386											
		県	千円	248	0	386											
		地方債	千円		0	0											
		その他	千円		0	0											
一般	千円	251	0	388													
正職員人工数		人工	0.2	0.2													
正職員人件費		千円	1,563	1,605													
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	2,310	1,605	1,160												
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）																	
あがっている	対象区域内の汲み取り人口は、昨年度より38人減少して427人でした。下水道区域の拡張に伴い、補助対象区域が縮減していることが要因です。																
どちらかといえばあがっている																	
あがっていない（停滞・低下）																	
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）																	
対象動向	減少	類似事業	なし														
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし														
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし														
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし														
成果向上余地	中程度																
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了								
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）																	
下水道区域の拡張などにより、対象世帯数が減少し、交付件数が著しく少ない状況。新築等は補助対象外とされ国の補助要件が厳格化されている状況。令和7年度までで廃止予定。																	
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄												
平成2年度から、公共用水域の水質汚濁を防止するため、公共下水道・コミュニティプラント・大型合併処理浄化槽・農業集落排水処理施設の処理区域以外の区域を対象に事業開始。下水道等の普及が進み、市内を流れる河川の水質が良くなっている。					平成28年度より、福岡県浄化槽推進協議会を脱退												